

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

平成25年度から、「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を採用している。

(1) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・自己都合退職による期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当なし

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである (単位:円)

| 科 目 | 前期末残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期末残高 |
|----------|-----------|-----------|-------|------------|
| 退職給付引当資産 | 9,934,973 | 1,558,525 | 0 | 11,493,498 |
| 合 計 | 9,934,973 | 1,558,525 | 0 | 11,493,498 |

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。 (単位:円)

| 科 目 | 当期末残高 | (うち指定正味財 産からの充当額) | (うち一般正味財 産からの充当額) | (うち負債に 対 応する額) |
|----------|------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 退職給付引当資産 | 11,493,498 | 0 | 0 | 11,493,498 |
| 合 計 | 11,493,498 | 0 | 0 | 11,493,498 |

6. 担保に供している資産

該当なし

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高 (直接法により減価償却を行っている場合)

該当なし

- 8 . 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高
(貸倒引当金を直接控除した残額のみを記載した場合)

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高 は、次のとおりである。

(単位:円)

| 科 目 | 債権金額 | 貸倒引当金の 当期末残高 | 債権の当期末残高 |
|-------|------------|-----------------|------------|
| 未 収 金 | 11,642,622 | 0 | 11,642,622 |
| 合 計 | 11,642,622 | 0 | 11,642,622 |

- 9 . 保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。)等の偶発債務

該当なし

- 10 . 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

- 11 . 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金などの内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

| 補助金などの名称 | 交 付 者 | 当年度交付額 | 前年度交付額 | 増減額 | 残高 |
|-------------------|--------|------------|------------|--------------|----|
| 鹿児島県観光連盟 事業補助金 | 鹿児島県知事 | 16,000,000 | 16,000,000 | 0 | 0 |
| 観光振興事業補助金 | 鹿児島県知事 | 7,110,000 | 8,320,000 | △ 1,210,000 | 0 |
| らくらくかごしま巡り事業助成金 | 鹿児島県知事 | 0 | 17,440,000 | △ 17,440,000 | 0 |
| 合 計 | | 23,110,000 | 41,760,000 | △ 18,650,000 | 0 |

- 12 . 基金及び代替基金の増減額及びその残高

該当なし

- 13 . 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当なし

- 14 . 関連当事者との取引の内容

該当なし

- 15 . キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

該当なし

- 16 . 重要な後発事象

該当なし

- 17 . その他

該当なし